

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-289521  
(P2000-289521A)

(43) 公開日 平成12年10月17日 (2000. 10. 17)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
B 6 0 P 7/06

識別記号

F I  
B 6 0 P 7/06

テームド\* (参考)  
Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-98197

(22) 出願日 平成11年4月5日 (1999. 4. 5)

(71) 出願人 000002967

ダイハツ工業株式会社  
大阪府池田市ダイハツ町1番1号

(72) 発明者 野村 秀政

大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハ  
ツ工業株式会社内

(74) 代理人 100084272

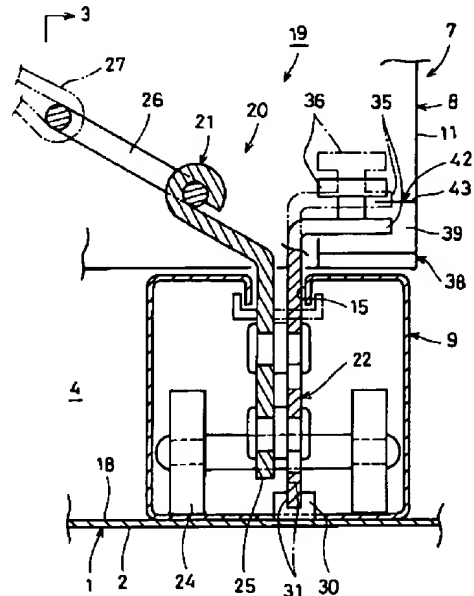
弁理士 澤田 忠雄

(54) 【発明の名称】 自動車の荷物保持装置

(57) 【要約】

【課題】 構成の簡単な自動車の荷物保持装置の提供を課題とする。また、このように構成を簡単にした場合でも、この装置による車体への荷物の保持が強固にできるようにする。

【解決手段】 車体1の前後方向に向って延びシート8を前後に移動自在に支承するシートレール9を車体フロア2に取り付ける。この車体フロア2上の荷物を保持可能とする保持具20を設ける。上記保持具20が、上記シートレール9に沿って移動自在となるようこのシートレール9に支承される保持具本体21と、この保持具本体21を上記シートレール9に沿った任意の移動位置でこのシートレール9にロック可能とするロック手段22とを備える。



→ 3

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体の前後方向に向って延びシートを前後に移動自在に支承するシートレールを車体フロアに取り付け、この車体フロア上の荷物を保持可能とする保持具を設けた自動車の荷物保持装置において、上記保持具が、上記シートレールに沿って移動自在となるようこのシートレールに支承される保持具本体と、この保持具本体を上記シートレールに沿った任意の移動位置でこのシートレールにロック可能とするロック手段とを備えた自動車の荷物保持装置。

【請求項2】 上記シートに取り付けられこのシートと共に移動して上記ロック手段に係脱自在とされる係合体を設け、この係合体の係合で上記ロックが解除されるようにした請求項1に記載の自動車の荷物保持装置。

【請求項3】 上記ロック手段への上記係合体の係合状態を保持する係合保持手段を設けた請求項2に記載の自動車の荷物保持装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、車体フロアに取り付けられるシートレールに、車体フロア上の荷物を保持可能とする保持具を移動自在に支承させる自動車の荷物保持装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】上記自動車の荷物保持装置には、従来、特開平10-151063号公報で示されるものがある。

【0003】上記公報のものによれば、車体における車室の内側壁に前後方向に向って延びるレールが取り付けられ、このレールに荷物保持用の保持具が、上記レールに沿って移動自在となるよう支承されている。

【0004】そして、所望位置にまで移動させた保持具にロープ等を引っ掛け、このロープ等により車室に積んだ荷物を車体に保持させれば、自動車の走行中など、上記荷物が無意的に移動するということが防止される。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記従来の技術における自動車の荷物保持装置では、保持具を車体に支持させるためのレールが別途に設けられているため、この装置の部品点数が多くなって、その構成が複雑となっている。

【0006】また、上記レールは、車体に保持させた荷物側からロープ等や保持具を介して大きい反力を受けるため、上記レールには十分な強度が要求されるが、この要求に応じて上記レールを単に補強すると、この装置は更に複雑になるおそれがある。

【0007】本発明は、上記のような事情に注目してなされたもので、構成の簡単な自動車の荷物保持装置の提供を課題とする。また、このように構成を簡単にした場合でも、この装置による車体への荷物の保持が強固にで

き、かつ、他の車両構成部品の機能に支障を生じさせないようにすることを課題とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための本発明の自動車の荷物保持装置は、次の如くである。

【0009】請求項1の発明は、車体1の前後方向に向って延びシート8を前後に移動自在に支承するシートレール9を車体フロア2に取り付け、この車体フロア2上の荷物を保持可能とする保持具20を設けた自動車の荷物保持装置において、

【0010】上記保持具20が、上記シートレール9に沿って移動自在となるようこのシートレール9に支承される保持具本体21と、この保持具本体21を上記シートレール9に沿った任意の移動位置でこのシートレール9にロック可能とするロック手段22とを備えたものである。

【0011】請求項2の発明は、請求項1の発明に加えて、上記シート8に取り付けられこのシート8と共に移動して上記ロック手段22に係脱自在とされる係合体38を設け、この係合体38の係合で上記ロックが解除されるようにしたものである。

【0012】請求項3の発明は、請求項2の発明に加えて、上記ロック手段22への上記係合体38の係合状態を保持する係合保持手段42を設けたものである。

## 【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面により説明する。

【0014】図において、符号1は自動車の車体で、矢印Frはこの自動車の前方を示している。

【0015】上記車体1は板金製で、その下部を構成して水平方向にほぼ平坦に延びる車体フロア2と、上記車体1の左右各側部を構成する側壁3とを備え、上記各車体フロア2の側部と上記各側壁3の下端部とが互いに結合させられ、これら車体フロア2と左右側壁3とで囲まれた車体1の内部空間が車室4とされている。また、上記車体フロア2と側壁3の結合部の一部が上記車室4の内部側に向って膨出させられ、これがホイールハウス5とされている。上記車体フロア2の側部は、上記側壁3との結合による補強で、上記車体フロア2の幅方向の中央部よりも強度と剛性とがより大きくされている。

【0016】上記車室4にはシート装置7が設けられ、このシート装置7はシート8と、車体1の前後方向に向って延びて上記車体フロア2に取り付けられ上記シート8を前後に移動自在となるよう支承させる左右一対のシートレール9、9とを備えている。この場合、上記シートレール9の少なくとも一方のシートレール9は上記したように強度等の大きい車体フロア2の側部近傍に配設され、これらシートレール9、9にシート8が強固に支承されている。

【0017】上記シート8は、上記シートレール9、9

に支承されるシート台11と、このシート台11の上面に支持されるシートクッション12と、このシートクッション12の後端部から上方に向かって突出するシートバック13とを備え、このシート8はその前方から乗員が着座可能とされている。

【0018】上記各シートレール9は断面が矩形の板金製筒体であり、その上面にはこのシートレール9の長手方向に沿ってスリット15が形成されている。上記各シートレール9にはその長手方向に沿って不図示の台車が移動自在に内蔵され、この台車に、上記スリット15を  
10 通るブラケットを介して上記シート8が支持されている。また、上記シート8を上記各シートレール9に沿った任意の移動位置でこのシートレール9にロック可能、ロック解除可能とする不図示のロック手段が設けられている。

【0019】上記シート8の後側における車体フロア2上の車室4の部分が荷室18とされ、この荷室18に積荷された荷物を車体1の車体フロア2に保持可能とさせる荷物保持装置19が設けられている。

【0020】上記荷物保持装置19は、上記したシート  
20 8支承用のシートレール9、9と、上記荷物保持用の保持具20とを備え、この保持具20は、上記各シートレール9に沿って移動自在となるようこれら各シートレール9に支承される保持具本体21と、この保持具本体21を上記各シートレール9に沿った任意の移動位置でこのシートレール9にロック可能、ロック解除可能とするロック手段22とを備えている。

【0021】上記保持具本体21は、上記各シートレール9にその長手方向に沿って移動自在となるようこれら  
30 各シートレール9に内蔵される台車24と、この台車24から上記スリット15を通して各シートレール9の外部に突出するブラケット25と、このブラケット25の突出端に回転自在に枢支される環状の保持部26とを備え、この保持部26には、ロープ、ワイヤー等の荷物保持用の索状体27が引掛け可能とされ、この索状体27により、荷物が車体1の車体フロア2上に引き絞められるなどして保持可能とされる。

【0022】上記ロック手段22は、上記各シートレール9の内底面に形成されこれら各シートレール9の長手方向に複数形成される凹形状のロック部30と、上記台車24に上下方向にのみ移動自在に支承されてこの上下移動で上記ロック部30のいずれかに係脱自在に係合させられる板形状の被ロック部31と、この被ロック部31を上記ロック部30に係合させるよう弾性的に付勢するばねである付勢手段32とを備えている。

【0023】図1、3中実線で示すように、被ロック部31がロック部30に係合させられると、上記保持具本体21が上記シートレール9にロックされる。一方、図1中一点鎖線で示すように、上記付勢手段32に抗して  
50 上記被ロック部31を上方移動させれば、上記ロック部

30から被ロック部31が離脱させられて上記係合が解除され、つまり、上記シートレール9に対する保持具本体21のロックが解除されて、各シートレール9に対し上記保持具20が移動自在となる。

【0024】前記したシート装置7において、シート8を各シートレール9に移動自在に支承させる台車は上記台車24とほぼ同じ構成とされ、シート8をシートレール9にロック可能とさせるロック手段は上記ロック手段22とほぼ同じ構成とされている。また、上記ロック手段22のロック部30は上記シート装置7と荷物保持装置19とに共用され、その分、荷物保持装置19の構成が簡単とされている。

【0025】上記構成によれば、荷物保持装置19の保持具20は、シートレール9に沿って移動自在となるようこのシートレール9に支承される保持具本体21と、この保持具本体21を上記シートレール9に沿った任意の移動位置でこのシートレール9にロック可能とするロック手段22とを備えている。

【0026】このため、荷物保持装置19には、シート8の支承用のシートレール9が兼用されたことから、上記荷物保持装置19に別途にレールを設けることに比べて、この荷物保持装置19の構成がより簡単になる。

【0027】また、上記各シートレール9は、シート8と、これに着座する乗員とを支持するものであって、大きい外力に対抗し得るよう成形されるものであり、元来、十分な強度と剛性とを備えている。

【0028】しかも、上記両シートレール9、9のうちの少なくとも一方のシートレール9は、前記したように側壁3との結合で補強されて強度等の大きい車体フロア2の側部近傍に配設されている。

【0029】よって、上記シートレール9を利用した荷物保持装置19によつての車体1への荷物の保持は、強固になされることとなる。

【0030】上記ロック部30の上端部は、ほぼ水平に折り曲げられて被係合部35とされ、この被係合部35に把持部36が取り付けられている。一方、上記シート8のシート台11の後端部から荷室18側である後方に向って突出する係合体38が設けられている。この係合体38は上記シートレール9の上面近傍に配設され、上記係合体38の突出端側(後部)の上端面は後下りの傾斜面39とされて、上記係合体38の突出端側は車体1の側面視で楔形状とされている。

【0031】上記シート8と共に係合体38がシートレール9、9に沿って荷室18側の後方に移動したとき、上記係合体38は上記ロック手段22の被係合部35に係脱自在に係合することとされている。より具体的には、上記係合体38がシート8と共に後方移動させられたとき、上記係合体38の傾斜面39は上記被係合部35を掬い上げるよう係合することとなり(図3中一点鎖線)、この係合体38による上記ロック手段22の被係

合部35に対する係合で、上記被ロック部31が上方に移動させられて、上記ロック部30との係合が解除され、もって、上記シートレール9に対する保持具本体21のロックが解除されるようになっている。

【0032】上記構成によれば、上記シート8に取り付けられこのシート8と共に移動して上記ロック手段22に係脱自在とされる係合体38を設け、この係合体38の係合で上記ロックが解除されるようにしてある。

【0033】このため、上記シートレール9に沿ってシート8を荷室18側に向うよう後方に移動させたとき、上記シート8の後方で、上記シートレール9に保持具本体21をロックさせているロック手段22が存在するときには、このロック手段22によるロックは、上記シート8と共に後方に移動してきた係合体38との係合で自動的に解除され、この保持具20は上記シート8に押されて、このシート8と共に後方に移動する。

【0034】よって、前記したように荷物保持装置19は、シート8を移動自在に支承するシートレール9を兼用して、その構成の簡素化が図られてはいるが、シート8を後方移動させたとき、上記シートレール9にロックさせられている保持具20によって、上記シート8の移動が阻害されるということは防止される。また、上記係合体38は、上記シート8のシート台11の後部から後方に向けて突出しているため、上記係合体38が上記シート8の着座者の邪魔になることは防止される。つまり、シート8の機能に支障が生じることは防止される。

【0035】また、上記ロック手段22への係合体38の係合状態、つまり、ロックを解除した状態をそのままに保持する係合保持手段42が設けられている。この係合保持手段42は、上記係合体38の基部の上面に形成されてほぼ水平に延びる水平面43と、上記傾斜面39から水平面43の遷移部で上方に向って一体的に突出する突起44とを備えている。

【0036】上記したようにシート8と共に係合体38が後方移動したとき、上記係合体38の傾斜面39が上記ロック手段22の被係合部35を掬い上げて、前記したようにロックを解除するが、その後、上記傾斜面39が上記被係合部35を上記突起44を乗り越えさせ、かつ、上記水平面43にまで案内するようになっている。図3中二点鎖線で示すように、単数、もしくは複数の上記被係合部35が水平面43に支持されると、上記被係合部35はこの支持のままに保持され、つまり、上記ロック手段22によるロックが解除されたままの状態に保持され、上記シート8と共に保持具20が移動させられる。

【0037】なお、上記把持部36を把持して上記被ロック部31を上方に移動させ、上記被係合部35を水平面43に支持させてもよい。また、上記突起44はなくともよい。

【0038】上記構成によれば、ロック手段22への上

記係合体38の係合状態を保持する係合保持手段42を設けたため、上記シート8を移動させれば、不使用時の保持具20は上記シート8側に自動的に収納されてこのシート8と共に移動することとなる。

【0039】よって、不使用時の保持具20が車体フロア2上で、乗員による他の作業等の邪魔になるということは防止される。

【0040】また、不使用時の保持具20は上記係合保持手段42による保持によって、上記シート8側に収納させられるため、上記保持具20が整理された状態で収納され、このため、その後の使用が円滑にできることとなる。

【0041】

【発明の効果】本発明による効果は、次の如くである。

【0042】請求項1の発明は、車体の前後方向に向けて延びシートを前後に移動自在に支承するシートレールを車体フロアに取り付け、この車体フロア上の荷物を保持可能とする保持具を設けた自動車の荷物保持装置において、

【0043】上記保持具が、上記シートレールに沿って移動自在となるようこのシートレールに支承される保持具本体と、この保持具本体を上記シートレールに沿った任意の移動位置でこのシートレールにロック可能とするロック手段とを備えている。

【0044】即ち、荷物の保持用の保持具本体を車体の車体フロアの所望位置に移動自在とさせると共に、その位置で保持具本体をロック可能とさせるようにした荷物保持装置には、シートの支承用のシートレールが兼用されている。

【0045】よって、上記荷物保持装置に別途にレールを設けている従来の技術に比べて、この荷物保持装置の構成はより簡単になる。

【0046】また、上記各シートレールは、シートと、これに着座する乗員とを支持するものであり、大きい外力に対抗し得るよう成形されるものであって、元来、十分な強度と剛性とを備えている。

【0047】よって、上記シートレールを利用した荷物保持装置によつての車体への荷物の保持は、強固になされることとなる。

【0048】請求項2の発明は、上記シートに取り付けられこのシートと共に移動して上記ロック手段に係脱自在とされる係合体を設け、この係合体の係合で上記ロックが解除されるようにしてある。

【0049】このため、上記シートレールに沿ってシートを移動させたとき、上記シートレールに保持具本体をロックさせているロック手段が存在するときには、このロック手段によるロックは、上記シートと共に移動してきた係合体との係合で自動的に解除され、上記保持具は上記シートと共に移動する。

【0050】よって、前記したように荷物保持装置は、

シートを移動自在に支承するシートレールを兼用して、その構成の簡素化が図られてはいるが、シートを移動させたとき、上記シートレールにロックさせられている保持具によって、上記シートの移動が阻害されるということは防止され、つまり、シートの機能に支障が生じることは防止される。

【0051】請求項3の発明は、上記ロック手段への上記係合体の係合状態を保持する係合保持手段を設けてある。

【0052】このため、上記シートを移動させれば、不使用時の上記保持具は上記シート側に収納されてこのシートと共に移動することとなる。

【0053】よって、不使用時の保持具が車体フロア上で、乗員による他の作業等の邪魔になるということは防止される。

【0054】また、不使用時の保持具は上記係合保持手段による保持によって、上記シート側に収納させられる。

【0055】よって、上記保持具が整理された状態で収納され、このため、その後の使用が円滑にできることと

なる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図2における1-1線矢視断面図である。

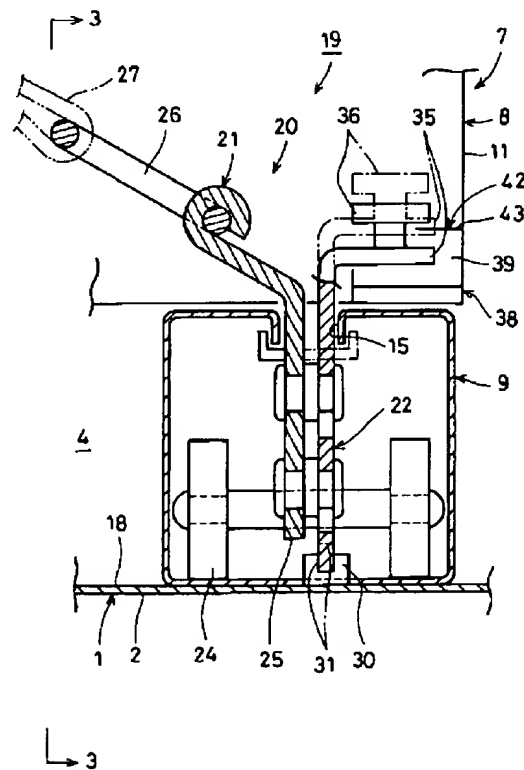
【図2】車室の斜視図である。

【図3】図1における3-3線矢視断面図である。

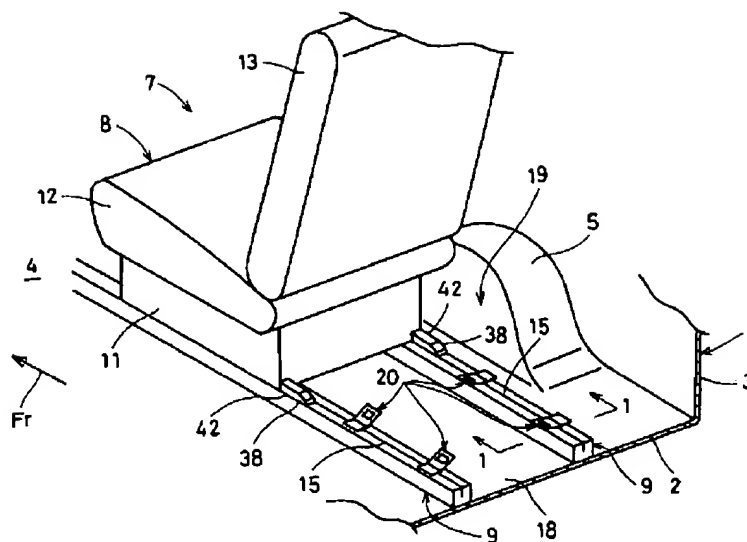
【符号の説明】

- |    |        |
|----|--------|
| 1  | 車体     |
| 2  | 車体フロア  |
| 3  | 側壁     |
| 4  | 車室     |
| 7  | シート装置  |
| 8  | シート    |
| 9  | シートレール |
| 19 | 荷物保持装置 |
| 20 | 保持具    |
| 21 | 保持具本体  |
| 22 | ロック手段  |
| 38 | 係合体    |
| 42 | 係合保持手段 |

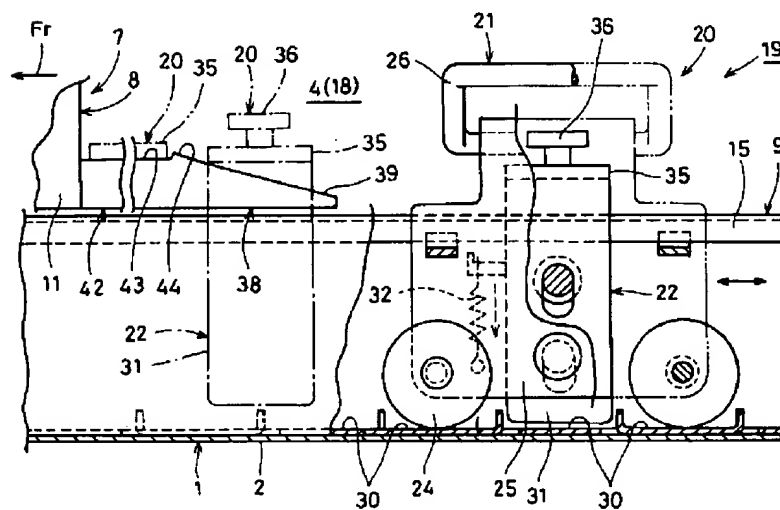
【図1】



【図2】



【図3】



DERWENT-ACC-NO: 2001-003605  
DERWENT-WEEK: 200101  
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Luggage holder for motor vehicle has holder which  
has holder piece  
supported such that holder is movable along seat rail, and  
lock device by which  
holder piece can be locked to seat rail

PATENT-ASSIGNEE: DAIHATSU MOTOR CO LTD[DAHM]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0098197 (April 5, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES	MAIN-IPC	
JP 2000289521	October 17, 2000	N/A
006	B60P 007/06	

A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2000289521A	N/A	1999JP-0098197
April 5, 1999		

INT-CL (IPC): B60P007/06

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000289521A

BASIC-ABSTRACT: NOVELTY - Each holder (20), to which  
luggage on the vehicle  
floor (2) is supportable, has a holder piece (21) that is  
supported such that  
the holder is movable along a seat rail (9). A lock device  
(22) by which the  
holder piece can be locked to the seat rail at an arbitrary  
moving position is  
provided.

DETAILED DESCRIPTION - The luggage holder (19) has seat  
rails which are  
attached to the vehicle floor. The seat rails extend back  
and forth of the  
vehicle body (1) and support a movable seat (8). The seat



rails are provided  
with holders to which luggage is supportable.

USE - For motor vehicle.

ADVANTAGE - Simplifies configuration of luggage holder.  
Holds luggage to  
vehicle strongly.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a  
cross-sectional view of the  
luggage holder.

Vehicle body 1

Vehicle floor 2

Seat 8

Seat rail 9

Luggage holder 19

Holder 20

Holder piece 21

Lock device 22

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS:

LUGGAGE HOLD MOTOR VEHICLE HOLD HOLD PIECE SUPPORT HOLD  
MOVE SEAT RAIL LOCK  
DEVICE HOLD PIECE CAN LOCK SEAT RAIL

DERWENT-CLASS: Q15

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-003206